



いばらき 農業委員会だより

第183号
令和5年9月発行



耐え難い暑さが続いた今年の夏も、ほほ峠を越した感がありますが、皆様方には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、平素は本市農業委員会の諸活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて過般7月20日に「第25期茨木市農業委員会」の初総会が開催され、引き続き会長にご推挙賜りました。光栄に存じましても責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。微力ではありますが、職責が果たせるよう精進してまいる所存でございますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

現在、全国的に農業従事者の高齢化が進んでおり、地域農業の継続が懸念される中、昨年5月に法律が改正され、市町村は地域における農業の将来のあり方等について協議の場を設け、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため、令和7年3月末までに10年後に目指すべき農地利用の姿を描いた地域計画を策定することになりました。

そのような中、農業委員会は農地の現状や意向を反映した目標地図の素案作成が求められていることから、市街化調整区域内の農地の所有者を対象にアンケート調査を実施し、素案を作成してまいりたいと計画いたしておりますので、調査へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

一方、本市の農業・農村を取り巻く状況は農業従事者の高齢化や担い手不足、遊休農地、有害鳥獣の増加など課題が山積しております。

農業委員会といたしましては、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携しこれらの諸課題に真摯に取り組む、重点業務である農地利用等の最適化を推進し農地を地域の貴重な資源として守り継ぎ、農業者の皆様の期待に応えられるよう委員一人ひとりが全力を尽くしてまいる所存であります。

何卒、新体制での農業委員会活動にご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



茨木市農業委員会

会長 小濱 邦臣

会長就任のご挨拶

第47回茨木市農業祭

～都市と農村のふれあいを求めて～

11月18日・19日開催

当日は、農林産物品評会や展示販売、各種アトラクション等を予定しています。皆さんお誘い合わせの上、ご来場ください。

開催日時
11月18日(土) 午前9時～午後4時
11月19日(日) 午前9時30分～午後3時

会場
中央公園グラウンド

ご協力ください

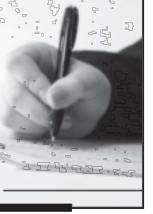


アンケートに

農業委員会では、市街化調整区域内の農地の所有者を対象に農地の利用意向等に関するアンケート調査を実施します。

このアンケートは、おおむね10年

農地の利用意向等に関するアンケート調査にご協力を



後の農業経営についてのお考えや、現在の農地の利用状況、今後の利用意向等についての調査になります。

この結果をもとに、地域ごとに地域計画の策定に向け目標地図の素案を作成し、今後、地域での話し合いを通じて、地域の農業の将来のあり方を検討していくこととしています。

調査票は9月上旬に発送しますので、9月29日(必着)までに同封の返信用封筒にてご回答いただきますようお願いいたします。

農業委員会が交付する 証明書の一部が有料に

茨木市農業委員会では令和6年1月から、サービスを利用する市民と利用していない市民の負担の公平性を考慮し、交付する証明書の一部が有料になります。

交付手数料が有料のもの
(1通につき300円)

- ①農地の転用許可済み・届出済み証明
- ②土地現況証明

なお、農地法に基づく許可及び当該事務に関連する目的のための証明については、従来どおり無料です。



宮本 正裕
6年在任
(農業委員)

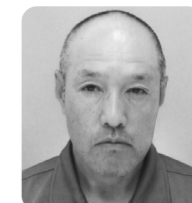


辻 清一
6年在任
(推進委員)

お疲れ様でした



大川 智恵子
6年在任
(農業委員)



上田 昌彦
6年在任
(推進委員)



行田 修
3年在任
(推進委員)



吉田 好
6年在任
(農業委員)



中野 稔
6年在任
(農業委員)

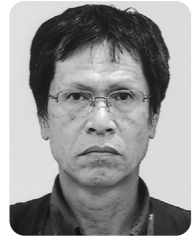


九鬼 実
3年在任
(推進委員)

農業委員及び農地利用最適化推進委員の任期満了に伴い、次の方々が

退任されました。皆様には、農業委員会の事業推進に多大なご尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。(敬称略)

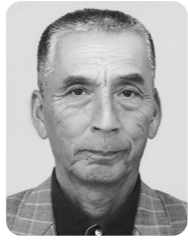
第25期 茨木市農業委員会委員、農地利用最適化推進委員



中西 壽男



大神 平



副会長
中村 正治



会長
小瀨 邦臣



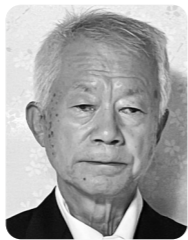
吉田 公俊



南野 悟



久保 睦子



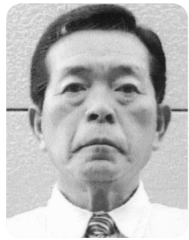
矢頭 周



入交 享子



西林 肇



大西 清一



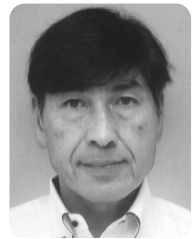
池田 洋一



谷山 正昭



早川 訓男



小川 範久
第4地区
(安威、福井)



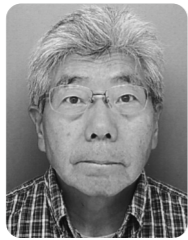
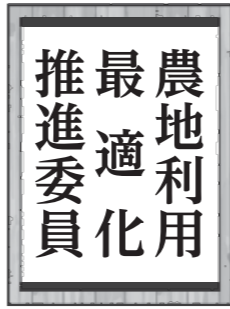
中野 勝之
第3地区
(石河)



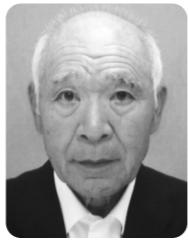
中井 昇
第2地区
(清溪)



西ノ坊 嘉治
第1地区
(見山)



松本 好博
第7地区
(玉櫛、玉島、三宅)



森 善隆
第6地区
(春日、三島)



川端 稔
第5地区
(豊川)

【委員会構成】
農業委員 14名
推進委員 7名
農業委員は、役員を除き議席順（右上から左下へ）、敬称略

※専門委員会の構成、農業委員及び推進委員の担当地区については、次号に掲載いたします。



茨木市長
福岡 洋一

ご就任を祝して

第25期茨木市農業委員会の発足、誠におめでとございます。

改めまして、農業委員会委員並びに農地利用最適化推進委員に就任されました皆様方に、心からお祝いを申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、高齢化や後継者不足、遊休農地の拡大、農業用資材の価格高騰など、依然として多くの課題を抱えております。こうした中、今期は、昨年の農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、農業者等が将来の地域農業のあり方を話し合い、10年後に目指すべき



茨木市議会
議長 下野 巖

祝 辞

この度、第25期茨木市農業委員会委員並びに農地利用最適化推進委員に就任されました皆様方に、心からお祝いを申し上げます。

我が国の農業を取り巻く環境は、食料自給率の問題をはじめ、農業従事者の高齢化や後継者不足による遊休農地の増加など、多くの課題が山積いたしております。近年ではロシアによるウクライナ侵攻をはじめとした世界情勢の影響等により、肥料や燃料等の農業生産資材の価格が高騰している状況でございます。

農地利用の姿を描く「地域計画」の策定が求められています。これまで以上に農業者等の意向把握を進めることが重要となっており、委員の皆様様の積極的な活動に期待が寄せられているところであります。

本市におきましても、農業者等の声をしっかりと受け止め、担い手の確保、地産地消への支援など、本市農業の発展に向けた施策の推進に努めてまいりますので、新たな農業委員会におかれましては、農業委員と推進委員の皆様が、密接に連携を図りながら、地域農業の振興に一層のお力添えをいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

結びに、茨木市農業委員会のますますのご発展と皆様方のご健勝ご活躍を祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

一方で、本市におきましては、都市と農村の交流活動を通じた「地産地消」の取組みや地域ぐるみでの農地の保全・活用を促進するため、農業の基盤整備を一層、進めていくことが重要であると認識しております。

このような中、農業委員と推進委員の皆様方には、農地利用の最適化の促進に取り組まれ、本市の農業の発展にご尽力賜りますようお願い申し上げます。

市議会といたしましても、農業の振興に意を用い、明るく、活力ある、地域社会の構築に、一層の努力をしてまいります。結びに、茨木市農業委員会のますますのご発展と皆様方のご健勝ご活躍を心からお祈り申し上げます、お祝いのことばといたします。



茨木市農業協同組合
代表理事 岡本 康夫

祝 辞

この度の第25期茨木市農業委員会委員並びに農地利用最適化推進委員にご就任されました皆様方に心からお祝いを申し上げます。

平素は、当JAの事業各般にわたり格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、担い手不足、不耕作農地の増加、有害鳥獣被害といった問題に加え、異常気象の影響により毎年のように発生する自然災害、また、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した原油価格や物価の上昇による肥料の高騰などの新たな問題も加わり、大変厳しい状況に置かれております。

持続可能な大阪農業の振興を目指す為、これらの課題解決に向け、農家所得の向上を図るとともに、農業後継者、新規就農者等への支援対策や農業経営継続の支援などの対応が重要であり、引き続き取り組んで行かなければならないと考えております。

このような中、貴農業委員会におかれましては担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など鋭意取り組まれていることに敬意を表します。

当JAといたしましても直売所等での安全・安心・新鮮な地元産農産物の提供を通じて地域農業の振興に努めて参りたく存じますので、貴農業委員会の格別のご指導とお力添えをお願いいたします。

結びに、茨木市農業委員会のますますのご発展と皆様方のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。